

介護あんしん 相談員だより



第53号 令和6年9月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見つけた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。現在18名の相談員が活動しています。



※現在は、新型コロナウイルス感染症予防のため、受入可能な施設のみの訪問をさせていただいております。

介護あんしん相談員活動に、ご理解をいただきまして感謝申し上げます。

- 相談員の受入再開をまだ実施されていない事業所の皆様へ
お気軽に受入再開のお電話をください。

👉 0942-81-3111 (地域支援係)

利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和6年6月・7月)



～利用者様の声より～

- 利用者：友達もいるし、家にいるより楽しい。食事も美味しい。スタッフさんから良くしてもらっている。
- 施設：今後とも、利用者様が楽しく生活できる環境及び職員が働きやすい環境を整えていきたいと思えます。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



利用者様は、こちらの施設にとっても居心地の良さを感じられているようでした。今回相談員は、認知症フロアにいるスタッフさんに話を聞いたところ、「排泄のお世話、夜間帯の対応など大変なことは多いですが、利用者様からたくさんの癒しをいただいています。」と笑顔でお話しをされたそうです。これを聞いて相談員は、このようなスタッフさんにケアしてもらえる利用者様も、きっと安心して穏やかに生活できるのでしょうかと、施設内ミーティングで施設に伝えられたそうです。スタッフさんの働きやすい環境があり、利用者様への対応の良さにつながり、穏やかな日常が積み上げられていくのではないのでしょうか。

利用者：施設に来たときには知らない人、知らない場所で怖かったが、今は慣れてきたので、我が家だと思っています。

施設：入居から数カ月経ち、顔なじみの職員・利用者様となり、安心した生活をされているようです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



利用者様は、「食事も美味しくて、困りごとはないです。ここは我が家だと思っています。」と窓の外の花壇や走る車を眺めながら、相談員に話されたようです。

施設のスタッフさんからは、「自分たちの知らない利用者様の情報を、相談員さんから聞くことができます。」と嬉しいお言葉をいただきました。

相談員は、利用者様の不安や困りごとと同時に、直接言えない感謝の言葉も施設にお伝える橋渡しの役割もあります。

相談員からの報告書には、スタッフさんの細やかな気配りや、利用者様の穏やかな笑顔・和やかな雰囲気を見ているだけで、居心地の良さが伝わってくるといった内容の記載が多数あります。

こちらの施設も、この方の我が家になりましたね。



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：居室の入口のネームプレートに、イラストがついていますね。

施設：ご本人の好きな物や、好きな事を表示しています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



居室のネームプレートには、将棋・グランドゴルフ・靴・お菓子などのイラストが付いていました。施設にお聞きしたところ、ご本人の好きなものや、好きな事を表示されているということでした。

イラストが表示されていることで、利用者様の趣味等もわかり、声かけのきっかけ作りや仲間作りにもとても役立ちそうですね。

また、他施設の居室のネームプレートには、災害時の避難に役立つような色分けや、歩行状況等が分かるようなプレートも有るようです。

相談員は、そのネームプレートを見て、こちらの施設でも一人一人を理解し、尊重されていると感じられたそうです。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。